

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	岩国市障害者サービスセンター		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月26日		～ 令和8年 2月 6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21名	(回答者数) 19名
○従業者評価実施期間	令和7年 12月 1日		～ 令和8年 1月 9日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月13日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	発達障害児、肢体不自由児、医療的ケア児を受け入れ支援している。	複数の部屋を使用し、グループに分かれて活動することで、安全に子どもに合わせた集団活動や個別支援に取り組んでいる。	年齢や人数に合わせた個別や集団活動、あそびや季節行事など、さまざまな経験の機会をつくる。地域住民や地域の子ども、きょうだい児と交流する機会を増やす。
2	個別に合わせたコミュニケーション支援を行っている。	視覚的ツールを活用して、理解や表出、身辺自立にも取り組み自発を促す支援に取り組んでいる。	研修への参加やミーティングでの振り返り、情報共有などを積極的に行いながら、職員の支援力の向上を目指す。
3	相談支援専門員や他機関との情報共有を積極的に行っている。	サービスを併用している他機関との担当者会議や事業所見学など行い、情報共有や支援の統一を図っている。	家族とも情報共有し、関係機関がチームとして支援に取り組めるようにする。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	マニュアルの策定や訓練、研修などを実施しているが、保護者の認知度が低かった。	配布物に実施した旨を掲載しているが、発信力が弱い。HPやSNS等を有効活用できていない。	活動の様子を含め、HPやSNS等を活用した情報発信に取り組む。新しい事柄や変更があった場合などは、わかりやすく丁寧に説明する。
2	きょうだい児支援や交流などの機会が持てなかった。	ニーズの把握や企画する力が十分でなかった。	行事へ招待したり、交流会を含めた研修会を企画したりするなど開催をめざす。